



県内経済効果256億円



大勢のファンで盛り上がったパブリックビューイング。昨年10月19日、大分市東大道路



県は1日、昨秋のラグビーワールドカップ（W杯）大分開催に伴う県内の経済波及効果は256億円（推計）だったと発表した。欧

外国人消費額 1人11万円

州などから予想を上回る外国人客が訪れ、大会前の試算（2018年2月時点）を3億円上回った。「対戦カードに恵まれ、観戦者の消費単価も高かったことが好結果につながった」と分析している。

W杯で大分は昨年10月2～20日に5試合があり、会場の昭和電工ドーム大分

記念モニュメント設置へ
官民でつくるラグビーW杯県推進委員会は1日、大分開催の記念モニュメントを大分市荷揚町の昭和通り交差点広場に設ける方針を示した。広瀬勝貞知事が定例会見で明らかにした。

ラグビーのプレーシーンを再現した彫刻作品をイメージし、東京芸術大美術学部の小谷元彦准教授に制作を依頼。今秋以降の完成を目指す。推進委は同日付で組織を「One Rugby、One Oita 推進委員会」に改称した。（大塩信）

（大分市）で延べ約17万3千人が観戦した。県によると、全体の直接効果は172億円で、そのうち観戦客の宿泊費や飲食代などの消費支出額は70億円だった。観戦客の32%（約5万5千人）を外国人が占め、1人当たりの消費額は11万1千円。県外客（6万2千円）の倍近くに達した。他県会

場で観戦した後に大分観光を楽しんだ外国人客と、大分市中心部に設けられたファンゾーンや祝祭の広場（同市府内町）での国内客の消費額はそれぞれ20億円に上った。

他には▽宿泊業や飲食店の仕入れ増など 57億円▽雇用者の所得増に伴う波及効果 27億円。大会組織委員会や県の開催経費は62億円だった。

県が大銀経済経営研究所に委託し、来場者約2千人へのアンケート調査などを基に算出した。柳井孝則・県芸術文化スポーツ振興課長は「準々決勝の開催などで熱狂的な海外客が増え、高めに見積もっていた試算も上回った。喜ばしく、誇らしい」と話した。（大塩信）

2020年4月2日付
大分合同新聞 22面

大分県は、ラグビーワールドカップ（W杯）の県内への経済波及効果は256億円だったと発表しました。

- ①県内への経済波及効果 256 億円の内訳は、観戦客が宿泊や飲食などで消費した直接効果ア.....億円、宿泊業や飲食店の仕入れ増など イ.....億円、雇用者の収入増に伴う波及効果 ウ.....億円です。ア、イ、ウに入る数字を記入してください。
- ②256 億円は、大会前の試算よりも 3 億円上回っています。最大の理由は何ですか。
.....
- ③外国人客は大分県内でいくら使ったことになりますか。計算式も書いてください。
.....
- ④あなたのラグビーW杯の思い出は？ おうちの人などと話し合ってみましょう。